

## 福井県JAバンクにおける 地域密着型金融の取組状況（令和3年度）

福井県JAバンク（福井県下JAと福井県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度福井県JAバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和3年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

福井県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

福井県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和4年3月末時点の福井県JAバンクの農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は6,169百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は2,467百万円を取扱っています。

(注)1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 福井県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

	令和4年3月末現在
農業	6,169
穀作	3,343
野菜・園芸	630
果樹・樹園農業	161
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	89
養鶏・鶏卵	56
養蚕	0
その他農業 <sup>(注3)</sup>	1,890
農業関連団体等 <sup>(注4)</sup>	0
合計	6,169

(注)

3 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

4 「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和4年3月末現在
プロパー農業資金 (注5)	4,455
農業制度資金 (注6)	1,714
農業近代化資金	1,596
その他制度資金 (注7)	118
合 計	6,169

(注)

- 5 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 6 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を福井県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで福井県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- 7 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

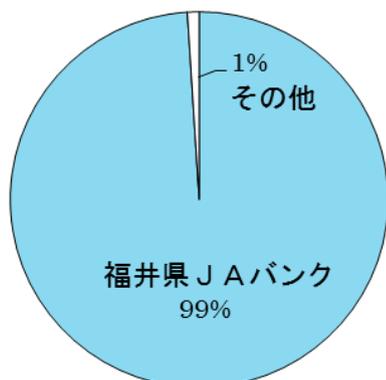
種 類	令和4年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (注8)	2,467
そ の 他	0
合 計	2,467

(注)

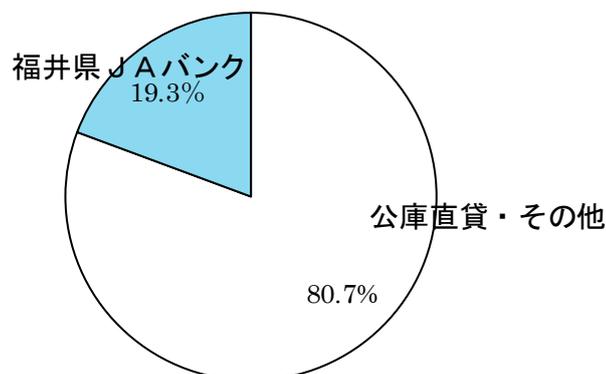
- 8 福井県JAバンクを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

福井県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金取扱いシェア  
(令和4年3月末時点)  
出所：福井県信連調べ



公庫農業資金取扱いシェア  
(令和4年3月末時点)  
出所：日本政策金融公庫  
業務統計年報



## (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

福井県 J Aバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、令和3年度は福井県 J Aバンクにて11名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和4年3月末時点で県内に71名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

## (3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズに J Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

### 具体的取組事例

J A福井県：農業融資関連の研修会の案内を営農・経済事業職員に対しても呼びかけている。

農業者へ T A C と支店の融資担当者が同行訪問し、融資の相談、提案を行った。

営農経済窓口や農機センター等に農業関連資金の資料を設置している。

T A C、営農指導、経済事業、信用事業、J A役員とお互いの情報共有と知識を習得するための会議を3か月に一度開催している。

J A越前たけふ：融資担当および営農指導員が同行訪問し、組合員のニーズ調査を行っている。

※ T A C・・・「地域農業の担い手に向く J A担当者」の愛称を単協・連合会が一体（チーム）となって地域農業をコーディネートするという意味をもつ「Team for Agriculture Coordination」の頭文字をとったもの。

#### (4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。また、得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

##### 具体的取組事例

J A福井県：認定農業者への定期的な訪問を行っている。

渉外担当者会にて調査結果内容を検証し、顧客のニーズ、意見を推進活動に活用している。

J A越前たけふ：融資担当者会議において、報告・ディスカッションすると同時に組合員との関係を希薄化することなくアプローチ訪問を行った。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

福井県J Aバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

福井県J Aバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	令和3年度 実行件数	令和3年度 実行金額	令和4年3月末 残高
青年等就農資金	4	34.3	311.9
就農支援資金	—	—	2.3
農業近代化資金	2	17.6	17.6
地域農業応援資金	2	22.0	22.0
担い手応援ローン	1	10.0	6.2
合計	9	83.9	360.0

##### 具体的取組事例

J A福井県：店舗や直売所にて、イベント（朝市・半額市）を開催し、就農者も店舗にて商品の説明・販売を行ってもらい、販売促進を図っている。

コロナ禍の影響で資金繰りに苦労している就農者が多いため、特に注意を払い、運転資金の声掛けを行っている。

(2) 経営不振農家の経営改善支援

福井県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【令和3年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		2	2		0	100.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④		0	0	0	0	0.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	1	0	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)		1	1	0	1	100.0%	0.0%
合計		3	3	0	1	100.0%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は令和4年3月末時点のものです。

(3) 被災者等への支援

福井県JAバンクでは、新型コロナウイルスによる影響を受けた皆様を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付 実行金額
新型コロナ対策資金	JA福井県	各支店にて新型コロナウイルス感染症に伴う所得補填資金の窓口を開設し、JAバンク利子補給を受け、低利の資金で対応を行った。	49	155
新型コロナ対策資金	JA越前 たけふ	新型コロナウイルスの影響により、米価の下落で農業所得が減収した組合員に対し、JAバンク利子補給および保証料助成を受け、対応を行った。	6	19

### 3 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

福井県 J Aバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 食・農への理解促進

福井県 J Aバンクは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、令和3年度には県下の小学校184校へ約7,500冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、福井県 J Aバンクでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

#### 【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活動名	活動内容
J A福井県	学校教育田	小学生に田植えや稲刈りの体験をしてもらいました。
	アグリ体験ツアー	J A生産部会等会員が指導しながら親子に収穫体験をしてもらいました。FM局との共同企画で告知やレポートをFMラジオで放送してもらいました。
	販売体験	地元小学校の児童が管内直売所にて、生産者の出荷した野菜の販売体験を行いました。
	たんぼの学校	営農指導員が地元の保育園を訪問し、田植え体験を行いました。
	食育活動	生活指導員が地元の保育園を訪問し、給食用の米を寄贈しました。また、営農指導員によるお米に関する紙芝居の読み聞かせも行いました。

以上